

令和6年度入試制度の概要

第一次募集の概要

出願希望調査

- 調査期間 令和6年1月10日(水)～12日(金)※予定
- 調査内容 県内公立高等学校の入学を希望する中学校3年生について、希望する高等学校ごとに第1希望の生徒数を調査し、その結果を公表します。
※ 出願希望調査で希望した高校とは別の高校に出願することは、可能です。

出願

- 出願受付 令和6年2月13日(火)～16日(金)※予定
- すべての受験生が希望する高校に出願し、受験することができます。
※ 出願できる高校は1人1校とし、課程及び学科・コースについて一つに限ります。
※ 複数の学科・コースを併置し、第2志望を認めている高校を志願する場合、当該校の他の学科・コースを第2志望とすることができます。

本試験

- 検査日 令和6年3月5日(火)
- 検査内容
 - 学力検査/国語、数学、社会、英語、理科を全員共通で実施します。(各教科50分)
 - 面接、実技、作文/学校によっては、面接や実技や作文を実施します。
※ 実技については、体育や美術に関する学科で実施します。
※ 面接、実技、作文を実施する場合、検査日が2日間になる場合があります。

追試験

- 検査日 令和6年3月8日(金)
- やむを得ない事由で、本試験を受験できなかった受験生を対象に実施します。
- 検査内容は、本試験に準じます。

合否判定

- 共通選抜と特色選抜の2通りの選抜方法で合否を判定します。
- 最初にどちらかの選抜方法で合否判定を行い、その後、最初の選抜方法で合格圏内に入らなかった受験生を対象に、もう一方の選抜方法で合否判定を行います。
※ 受験生が共通選抜か特色選抜かを選ぶ必要はありません。
- 共通選抜と特色選抜の選抜順序については、各高校が定めます。

合格発表 令和6年3月14日(木)

第二次募集の概要

※第一次募集の合格者が定員に満たない学校で実施します。

出願

- 実施校公表 ※予定
令和6年3月14日(木)
午後3時 県高校教育課HP
- 出願受付 ※予定
令和6年3月15日(金)
～3月19日(火)

※ 第一次募集で合格した場合は、第二次募集には出願できません。

検査内容

- 検査日 ※予定
令和6年3月21日(木)
- 面接、実技、作文、学力検査のいずれか1つ以上を実施する場合があります。
- 学力検査を実施する場合は、国語、数学、英語から1教科以上実施します。

選抜方法

- 調査書のみ、又は調査書に面接、実技、作文、学力検査のうち、実施した検査を加えて総合的に選抜します。

合格発表 ※予定
令和6年3月21日(木)
又は22日(金)

共通選抜と特色選抜について

共通選抜

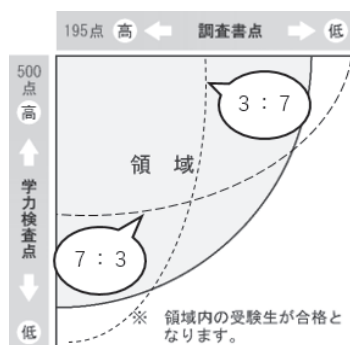
学力検査点と調査書点の相関図を基に、その両方の満点により近い者を上位として、上位の者から審査し、共通選抜の募集人数分を選抜します。

■学力検査点（500点満点）

国語、数学、社会、英語、理科の学力検査点（各教科100点満点）の合計点

■調査書点（195点満点）

国語、数学、社会、英語、理科については、3年間の評定の合計
音楽、美術、保健体育、技術家庭については、3年間の評定の合計×2倍 } 合計 195点



■相関図での学力検査点と調査書点の比重は、次の5つの組合せの中から、各高校が学校・学科ごとに設定します。

	学力検査重視	同等	調査書重視
学力検査：調査書	7：3	6：4	5：5
	4：6	3：7	

■体育や美術に関する学科では、実技の評価を選抜資料に加える場合があります。

特色選抜

特色選抜では、学力検査点、調査書点及び面接、実技、作文の得点を合計し、その合計点を基に、調査書の記載事項も用いて総合的に審査し、選抜します。なお、特色選抜の審査対象者は、特色選抜の選抜人数の120%から200%までの間で、各高校が定めます。

■学力検査点

国語、数学、社会、英語、理科の学力検査点の得点を、各高校が教科ごとに定めた倍率によって算出し合計します。

【算出方法】

「各教科の得点×倍率」の計

■調査書点

各教科・各学年の評定を、各高校が定めた倍率を用いて算出します。

【算出方法】

「各教科の『各学年の評定×倍率』」の合計

■面接・実技・作文

面接、実技、作文の配点については、各高校が定めます。

算出例

例① 【審査対象者】

(例) 特色選抜で選抜する20人の120%の範囲に含まれる者 → 審査対象者24人

例② 【学力検査点】

(例) 国語、数学、社会、理科…得点を1.0倍にする
英語……………得点を2.0倍にする

国語	数学	社会	英語	理科	合計
100	100	100	200	100	600

例③ 【調査書点】

(例) 国語、数学、社会、英語、理科……………全学年の評定を2.0倍にする
音楽、美術、保健体育、技術家庭……………全学年の評定を4.0倍にする

	国語	数学	社会	英語	理科	音楽	美術	保体	技家	
1年	10	10	10	10	10	20	20	20	20	
2年	10	10	10	10	10	20	20	20	20	
3年	10	10	10	10	10	20	20	20	20	合計
計	30	30	30	30	30	60	60	60	60	390

連携型選抜について

連携型高等学校（南三陸高等学校）は、連携型中学校（南三陸町立志津川中学校、同歌津中学校）からの志願者を対象とした連携型選抜を実施します。検査内容は第一次募集に準じます。

○出願資格

連携型選抜に出願できる者は、次の条件を全て満たし、連携型中学校の校長が認めた者とする。

- 1 令和6年3月に連携型中学校を卒業する見込みの者であること。
- 2 連携型高等学校、学科を志願する動機や理由が明白で適切であること。
- 3 連携型高等学校、学科に対する適性及び興味・関心を有すること。
- 4 中学校生活を意欲的に送り、入学後も学校生活を意欲的に送る意志があること。

社会人特別選抜について

定時制課程において実施する学校があります。

全国募集選抜について

中新田高等学校と南三陸高等学校では令和5年度入試より全国募集選抜を実施しています。

○出願資格

全国募集選抜に出願できる者は、宮城県公立高等学校入学者選抜要項で別に定める出願資格に加え、次の(1)～(3)をすべて満たす者とする。

- (1) 全国募集実施高等学校が所在する市町村及び地域での学びに関心があり、志願先の全国募集実施高等学校への志願理由が明確であること。
- (2) 志願者及び保護者が宮城県外に居住していること。
- (3) 志願者が志願先の全国募集実施高等学校への入学期日までに、宮城県内に居住する予定であること。

○選抜方法（中新田高等学校）

調査書、5教科の学力検査に加え、面接を実施します。

- 1 形態 個人面接
- 2 時間 10分程度
- 3 内容 「求める生徒像」及び志願理由書の内容について
- 4 観点 (1) 意欲 35点
(2) 表現力 20点
(3) 判断力 20点

○選抜方法（南三陸高等学校）

調査書、5教科の学力検査に加え、面接を実施します。

- 1 形態 個人面接
- 2 時間 10分程度
- 3 内容 (1) 志望動機
(2) 中学校での活動状況
(3) 高校生活への意欲
(4) 志願理由書の内容について
(5) その他
- 4 観点 (1) 態度
(2) 表現力等